

●木津川希少種植生調査管理業務 除草作業を開始

35ヶ所の管理地が八幡市から木津川市加茂町までの24kmに渡って点在しており、その面積もそれぞれ違って、植物の生長度合いと品種も違い特徴があります。そして堤防の傾斜にも変化があり、一様に同じではないためそれぞれ注意をしてハンマーモアを運転しなければなりません。特に秋から冬の草刈りは葛の繁茂が出来上がってしまっていると刈幅80cmのハンマーモアの刈幅いっぱいの負荷を掛けますとエンジンに負荷がかかり、刈り切れず巻きついてしまいエンジンが止まってしてしまいます。そうすると手作業で取り除くことになって作業が止まってしまいます。大変な時間のロスが生じます。エンジンの回転に気を付けながら負荷のかけ方(刈幅)に注意をしています。雑草の密集度や太さ頑丈さ等を計算しながらの作業になっています。堤防の傾斜角度にも注意が必要です。

●文化祭などでの展示ポスター作製 9作品 第1部原案製作できる

文化の日(11月3日)を中心に各地で展示発表会が計画されています。里山の会は要請があれば「自然を大切に作る仲間の輪を大きくする」とのスローガンに基づいて活動内容を広くお知らせして行くチャンスとしてできる限り出かけています。またこちらから一人でも多くの人々にご理解をいただきたいものとして取り組んでいます。この秋には9月下旬に1回、10月下旬に集中して3回、11月には2回、12月は1回と合計7回の展示発表会が予定されています。展示作品を使いまわしも致しますが、ご意見を聞きながら訂正修正を繰り返し、充実したものにできればと考えています。

●松かさツリー 150個 完成させる

里山の会の秋は特に展示会の展示物作成のために忙しい時期になっています。同時に会誌「里山の自然」が年度前半のまとめとしての大切な機関誌(全会員と顧問及び友好団体への郵送)を行いますので相当な事務量が重なります。そして展示会出展につきものの子供向けワークショップの松かさツリーの準備も待っていますので、まさに猫の手も借りたいという忙しさです。今年から竹サインペンの宣伝も加わってきますので準備などの目配せが増えてきました。しかし里山の理事さんや社員、会員の方々の協力が加わってこなす事が出来てきました。よく、楽しいことは面白い。といわれますが、その裏には楽しくするために頑張ってくれる人がいるからなのです。いつまでも楽しいことを受け取る側にとどまらず、「楽しくさせる」側で楽しんでみませんか。皆さんの大きなご協力を期待しています。10月11日の事務局会議の後13:30分から草内の倉庫の前で、風もあつての作業日和でしたが5人の皆さんが松かさツリーの仕掛け(台・柱・玉に色付け)などの作業を行っていただき150組の準備を完成させていただきました。本当にご苦労様でした。

●竹ペンの宣伝の原稿案が作成される

竹サインペン製作を思いついて早くも2年が経過しました。まず制作することから始まり、素材の選定など種々の課題に四苦八苦しながらフック付きのサインペンに到達し、焼き印を入れることにまで到達出来ました。とうとう3形態が製作可能のところまで漕ぎつきました。まだまだ改善の余



地はあると思われますが、現段階の宣伝チラシを製作できたので紹介いたします。ご友人知人にご紹介ください。

●第5回イタセンパラの復元を目指す会(12月14日)の会場が京田辺市北部住民センター

木津川が淀川水系のなかで、国の天然記念物イタセンパラが2007年まで生息していました。そのワンドが現存しているので復元を目指そうと取り組んでいます。12月14日(土)の午後、京田辺市大住の北部住民センターで第5回目のイタセンパラの復元を目指す会を開催いたします。第4回の折に、今回は多方面からの生き物調査に取り組んでいる報告を盛り込んでどうかと提案があり、各団体から取り組みの報告を企画しております。午後からの短時間ですので十分な時間は用意できませんが、充実した内容へ向かって準備をお願いいたします。内容の詳細が決まり次第、週刊ニュースに掲載してお知らせいたします。

●アライグマの学習会 12月12日 京田辺市立中央公民館で開催

これまで里山農園での獣害はイノシンが対象でサツマイモが大きな影響を受けてきたので防護柵を500mに渡って張り巡らせてきました。ところが夏に実っているカボチャがかじられる被害が発生し、検討の結果アライグマであろうと判断して捕獲の檻で3匹捕まえました。少し安心していますとその後8月9日に6匹が池に出現しているのをカメラが撮影しているではありませんか。3匹どころか多数のアライグマが生息していることが証明されたのです。京都府自然環境課に相談すると、有識者や近隣自治体に呼び掛けて現地視察と学習会の実施に至り日にちと会場が決まりました。参加費無料で行いますので獣被害でお困りの皆さんご参集ください。

農園部会だよ！
イノシンが農園を荒らす！
働き世代？年代物の
トラクターが登場！！



●10月22日(火) 里山農園にて

9月24日に同志社大学ボランティア支援室の5名が種まきをしてくれた大根一畝が掘り返えされてしまいました。

19日の夜から20日の朝にかけてだろうと推測されます。21日(月)の朝6時30分頃気になっていたので大村理事長が里山農園を点検に出かけてみるとウリボウ6匹が南方に駆け抜けていくのを確認しました。侵入は何処からか見当が付きませんが逃げていった方向ははっきりしました。

大根は写真のようになっていましたが、食べた後は見つかりませんでした。3号地には改めて鉄柵28枚を張り巡らして大根の種を改めて蒔きました。遅れませんが12月の7・8日には実ってほしいと願っています。食べ物が少なる冬にかけて獣害に備えて対策を考えないといけません。知恵比べに勝たねばなりません。



イノシンに荒らされた畑



新しい仲間

故障したトラクターの代役として、新たなトラクターを10月20日(日)に有田さんと太田さんが農園に運び込んでくれました。情報によると、1979年に幕をおろした会社「鈴江農機」の製品です。保管して維持管理してくださった方々、運び込んでくださった方々に感謝して、大活躍して欲しいです。

26日(土)10時から、このトラクターの使い方の講習会を行います。興味のある方はぜひお越しください。